

様式第 2 3 号（第 5 条関係）

令和 6 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所在地	笠岡市高島5039-1
協議会名	高島まちづくり協議会
協議会長名	会長 妹尾 利雄

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 5 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 285 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 1,481,000 円
(交付金決算額)

[内訳]

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
1,489,000	1,481,000	0	8,000

- 2 交付金が減額変更になった理由

婆一ちやるショップ運営事業、灯油運搬回数が減少したため

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第 2 4 号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第 2 5 号又は様式第 2 5 号の 1)
- (3) 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- (4) 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- (5) その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島民の生活基盤である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
【効果】	第一に利用者が安心、安全に利用できるよう心掛けること。高齢化が進み担い手がない中、若い世代が業務に携わり島で収入を得ることが出来、地域の活性化にも繋がる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

高島回漕店及び高島港

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 15807 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 15797 人（イ）
 ○団 体： (団体名) 自治会 , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

定期便が安全に発着できるよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、公衆トイレ、回漕店周りの清掃、高齢者宅へ宅急便などの荷物を届ける。

6 決算額

1,572,000 円（うち交付金分 972,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	海上の荒れている時などの乗降時に安心して利用できています。
【課題】	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。高齢化が進む中スムーズに自宅に届く解決策考えて行けたらと思います

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	1
活動名	回漕店運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 972,000	972,000	0	当該年度分
その他収入	600,000	600,000	0	
	600,000	600,000	0	三洋汽船より
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
賃金	1,572,000	1,572,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	1,572,000	1,572,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 972,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 回漕店運営事業

費目 **賃金**

No. **1**

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	30	会長	4月5月6月分	243,000	243,000
2		7	31	〃	7月(口座より)	81,000	324,000
3		8	31	〃	8月(口座より)	81,000	405,000
4		9	29	〃	9月(口座より)	81,000	486,000
5		9	29	〃	三洋汽船より(6ヶ月分)	300,000	786,000
6		10	31	事務員	10月分(口座より)	81,000	867,000
7		11	30	〃	11月分(口座より)	81,000	948,000
8		12	29	〃	12月分(口座より)	81,000	1,029,000
9	6	1	31	〃	1月分(口座より)	81,000	1,110,000
10		2	29	〃	2月分(口座より)	81,000	1,191,000
11		3	27	〃	三洋汽船より(6ヶ月分)	300,000	1,491,000
12		3	29	〃	3月分(口座より)	81,000	1,572,000
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						1,572,000	

自己評価シート
(令和 5 年度)

No. 1

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	回漕店運営事業

活動目的	島民の生活基盤である定期船航路を維持する為、定期船発着の安全管理、切符の販売や荷物の集荷、乗降客の安全管理を行う回漕店業務を実施する。
実施内容	定期便が安全に発着できるよう手助けをし、乗降客の安全確保、切符販売、荷物やメール便の集荷、公衆トイレ、回漕店周りの清掃、高齢者宅へ宅急便などの荷物を届ける。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するinnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	2
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてinnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
海上の荒れている時などの乗降時に安心して利用できています。	宅急便を含め全ての荷物は回漕店止まりです。高齢化が進む中スムーズに自宅に届く解決策考えて行けたらと思います

今後の活動の方向性・改善策
回漕店は島の玄関口でも有ります。島民はもちろん利用される方が安心して利用できるよう継続して行きたいと思ひます。宅急便、メール便等も各家に届くよう協議をしています。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	島には商店がない為、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡市内の商店街から商品を仕入れ島民の力で商店を開く。また、燃料（灯油、ガソリン等）は危険物の為定期便に乗せることが出来ないため、地元の方の協力で外浦港から高島間の運搬の協力を得る。
【効果】	食料品、生活用品など必要な商品が島で購入出来ることで、安心して島での生活を送ることが出来る。コロナ禍ではありますが購入時に注文者が集まり、他愛のない会話が弾むひと時です。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

婆一ちやるショップ→高島回漕店
 燃料→灯油自治会倉庫

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 111 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 3 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 108 人（イ）
 ○団 体： (団体名) 自治会 , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

月2回商店を開きます。利用者が毎回注文用紙に記入、集計したものを笠岡市商店街に注文する。届いた商品は仕分けをして注文者が取りに来られます。体調の悪い方や持ち運べない商品はグリスロで届けています。

6 決算額

149,000 円（うち交付金分 149,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	少しの時間会話を楽しまれて帰られます、安否確認にも繋がっています。大きなものや重い商品が地元で、とてもありがたいです。他の方の注文商品を参考にし、次回何を注文しようか？と次回の参考にしています。食べることは楽しみのひとつでもあります。
【課題】	利用されていない方への呼びかけやボランティアの輪を広げていく。

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	2
活動名	婆一ちやるショップ運営事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 157,000	149,000	8,000	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	157,000	149,000	8,000	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費	5,000	5,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役員費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
運賃	96,000	96,000	0	〃
運搬費	56,000	48,000	8,000	〃
運搬費			0	
			0	
計	157,000	149,000	8,000	決算額のうち市交付金分 ② 149,000

市交付金の余剰金 ①-② 8,000 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 8,000 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	31	事務員	商品支払の為	5,000	5,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						5,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 運賃

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	27	三洋汽船	婆一ちやる運賃(4月~6月)6回分	24,000	24,000
2		7	5	〃		4,000	28,000
3		7	19	〃		4,000	32,000
4		8	7	〃		4,000	36,000
5		8	23	〃		4,000	40,000
6		9	6	〃		4,000	44,000
7		9	20	〃		4,000	48,000
8		10	4	〃		4,000	52,000
9		10	18	〃		4,000	56,000
10		11	1	〃		4,000	60,000
11		11	15	〃		4,000	64,000
12		12	6	〃		4,000	68,000
13		12	27	〃		4,000	72,000
14		1	10	〃		4,000	76,000
15		1	24	〃		4,000	80,000
16		2	7	〃		4,000	84,000
17		2	21	〃		4,000	88,000
18		3	6	〃		4,000	92,000
19		3	20	〃		4,000	96,000
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						96,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 婆一ちやるショップ運営事業

費目 運搬費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	3	27	事務員	運搬	48,000	48,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						48,000	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 2

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	婆一ちやるシヨップ運営事業

活動目的	島には商店がない為、高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる島づくりを目指し、笠岡市内の商店街から商品を仕入れ島民の力で商店を開く。また、燃料（灯油、ガソリン等）は危険物の為定期便に乗せることが出来ないため、地元の方の協力で外浦港から高島間の運搬の協力を得る。
実施内容	月2回商店を開きます。利用者が毎回注文用紙に記入、集計したものを笠岡市商店街に注文する。届いた商品は仕分けをして注文者が取りに来られます。体調の悪い方や持ち運べない商品はグリスロで届けています。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
少しの時間会話を楽しまれて帰られます、安否確認にも繋がっています。大きなものや重い商品が地元で、とてもありがたいです。他の方の注文商品を参考にし、次回何を注文しようかと次回の参考にしています。食べることは楽しみのひとつでもあります。	利用されてない方への呼びかけやボランティアの輪を広げていく。

今後の活動の方向性・改善策

島での暮らしが困難で島を離れる方も居られますが、安心して利用できる事業のひとつです。島には商店が無いので笠岡市内の商店より月2回商品を仕入れ、注文者(高齢者・障がい者)の方が各自取りに来ています。グリスロでの配達もしています。毎月の予定表でお知らせはしていますが、気兼ねなく利用できるよう声掛けも続けて行きます。灯油等の燃料は危険物扱いなので定期船に乗せることが出来ないのととても有難いです。

様式第24号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業
前年からの繰越金	

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
【効果】	高齢者の家族が帰省時にゆったりとした時間が持てる。また、観光客も増え島に活気が出てくる。

2 実施期間

令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日
 (計画期間 1 年中 年目)

3 実施場所

神島外浦港・高島港間

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 625 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 10 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 615 人（イ）
 ○団 体： (団体名) 自治会 , (団体名)
 (団体名) , (団体名)

5 実施内容

地元で渡船業を営んでいる藪田渡船を利用して、高島～外浦間運行します。利用者が1時間前までに直接藪田渡船に利用の連絡をする。利用者が居ない場合は運休とします。委託料月30,000円と利用者は一人200円を藪田渡船に支払う。

6 決算額

360,000 円（うち交付金分 360,000 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	島民利用はもちろんですが、観光客、民宿関係のかたの利用も多くなっています
【課題】	予算の関係上曜日が限定されての運行となります。利用状況を確認しながら検討していきたいと思ひます

様式第25号（第5条関係）

令和 5 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 高島まちづくり協議会

活動No	3
活動名	定期便減便対策事業

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 360,000	360,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
委託料	360,000	360,000	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	360,000	360,000	0	決算額のうち市交付金分 ② 360,000

市交付金の余剰金 ①-② 0 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 定期便減便対策事業

費目 委託料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	5	6	30	やぶた渡船	4月5月6月分	90,000	90,000
2		7	31	やぶた渡船	7月分	30,000	120,000
3		8	31	やぶた渡船	8月分	30,000	150,000
4		9	29	やぶた渡船	9月分	30,000	180,000
5		10	31	やぶた渡船	10月分	30,000	210,000
6		11	30	やぶた渡船	11月分	30,000	240,000
7		12	29	やぶた渡船	12月分	30,000	270,000
8	6	1	31	やぶた渡船	1月分	30,000	300,000
9		2	29	やぶた渡船	2月分	30,000	330,000
10		3	29	やぶた渡船	3月分	30,000	360,000
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No.1 小 計						360,000	

自己評価シート

(令和 5 年度)

No. 3

協議会名	高島まちづくり協議会
活動名	定期便減便対策事業

活動目的	定期便減便、運行時間ダイヤ改正で島民の利便性が失われるのを防ぐ為、減便対策を行い島民、島外の人たちの生活を確保する。
実施内容	地元で渡船業を営んでいる藪田渡船を利用して、高島～外浦間運行します。利用者が1時間前までに直接藪田渡船に利用の連絡をする。利用者が居ない場合は運休とします。委託料月30,000円と利用者は一人200円を藪田渡船に支払う。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人たちで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	2
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 島民利用はもちろんですが、観光客、民宿関係のかたの利用も多くなっています	現状と課題 予算の関係上曜日が限定されての運行となります。利用状況を確認しながら検討していきたいと思います
---	--

今後の活動の方向性・改善策

運行予定日に電話予約して運行が決定されるため、利用者が1人で運行される場合もあり、「自分のためにだけに運行させるのは申し訳ない」といった利用控えが起きる場合がある。運行予定を利用者間で共有出来れば、乗合する感覚で利用しやすくなり、結果として稼働率が向上すると考えられる。また、リアルタイムで運行情報が提供されることで、乗船忘れの防止が出来るものとする。